



2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

第257回例会 5月20日(火)PM19:00 ~ 20:00 オークラホテル4F平安の間
 司会:大岡敏孝 点鐘:原田道子 ロータリーソング:希望のエナジー

週報

会長挨拶

人生いろいろ

例1:ある女性の資産家の方が姉妹仲良く平等に分けなさいと言い残して亡くなりました。大きすぎる自宅敷地と自宅、2億もの借金残がある賃貸マンションほとんど空き家になっている借家、アパート、その他もろもろ、そして49日の法要も終わり相続人が集まりました。一人暮らして年金生活者の後継ぎは「こんな広い自宅をもらっても固定資産税が払えない!」と言うし、マンションは欲しいけど借金は嫌というし、平等に分けれない!とみんなで嘆くし。

例2:旦那さんが亡くなった時に一人息子に全て相続させ、息子が結婚して子供ができたが、亡くなったという方がいた。お嫁さんがすべての財産を取得し家を出て行った。すべての財産を売却するといわれ気が気ではない。

幹事報告

・今年度入会の皆様と会員手帳変更申請の皆様に対してメールボックスの中に2008-2009年度の会員手帳の第1回校正原稿が入っております。次週例会までに確認書の訂正をお願いいたします。

・ミャンマーサイクロン災害及び中国・四川省地震災害についてガバナー事務所より政情の状態及び義損金送付先が決まらないことからガバナー会にて取り扱わないとの連絡がありました。2620地区においても徴収しないとの連絡がありました。クラブ単位で対応していくことになりました。義損金送付先としてミャンマーについては、国際難民高等弁務官事務所(UHCR)が適当ではないかということです。また、中国については、赤十字、新聞、テレビ各社が対応している程度のことしかわかりませんので今後クラブとして検討していきたいと考えます。

委員会報告

ゴルフ同好会/坂倉幹事 5月18日浜名湖カントリークラブで 浜松8ロータリー親睦ゴルフ大会が行われ、当クラブでは10名で参加しました。対抗戦は8ロータリー中6位でした。

6月22日に今期最後のとりきり戦をレイク浜松カントリークラブで開催します、賞品も沢山用意しておりますの多数の参加をお待ちしております

社会奉仕委員会/坂倉委員 認知症サポーター養成講座に2007年12月より2008年3月19日まで4回で636人が受講されました。



出席報告

98名中56名57.14%
前々回修正出席率70.41%

スマイル報告

河村正隆;最近、朝例会に出席出来なくて申し訳ありません。優秀な事務員さんが産休で河村が肩代わりしなくてはならない状況です暫らく、こんな状況ですが宜しくお願い申し上げます。

ハッピーバースデー

大岡敏孝;4月16日生まれ
河村正隆;4月30日生まれ
鈴木和行;5月8日生まれ
福地三則;5月10日生まれ

連絡事項

マラソン同好会/加藤会長 今年の本ホノルルマラソン(12月第2日曜の12/14)はやった人、行った人でないと分かりません。是非とも一緒に行きましょう。年々参加者が増えて、なかなかチケットが取れないと思いますので、早めに申込みをしたいと思います。あとでキャンセルは可能ですが、あとで申込みはできませんので、6月の初めまでに私か坂井さんに連絡してください。

ゴルフ同好会/坂井さん ホノルルマラソンは是非みなさん一緒に行きましょう。それと10/19に8ロータリーのゴルフコンペがあります。うちのクラブが主幹ですので、20人以上の参加が絶対必要です。100人くらいのメンバーと一緒に回りますので、是非参加をお願いします。





2007-08



国際ロータリーのテーマ「ロータリーは分かちあいの心」 会長/ウィルフリッド・J・ウィルキンソン(カナダ)
 2620地区のテーマ「情熱と行動」 ガバナー/道部 乗(沼津北RC)
 パワー浜松ロータリーのテーマ「見える組織、溢れるパワー、溢れる奉仕」 会長/原田道子

議事卓話

木宮一邦 会場監督 「人生 いろいろ」



教育とは何か、今の日本の学校の考えは 世の中の動きに支配されずに実行していくという流れではないかと思えます。

そんな中、働くことと、勉強すること、どちらが大事か、人間として本当は働かないと食べることに着ることが出来ないの

生きて行くことが先でした、昔は親の仕事の手伝いで学校を休んでも怒られることは無く手伝いを優先してくれた時代でした、でも今の日本は食べることに着ることは何も心配する必要のない時代です、だから子供にとって勉強をすることが大切に思えます。しかし根本は、生きることの大切さを抑えておかないと今回みたいな中国の大地震、ミャンマーのサイクロンのどの災害時に対応できず大変な事になるので、しっかり教えていかなければ、いけないと思えます。

プロフィール

浜松北高校卒業,東京大学理学部地学科卒業,東京大学大学院理学系研究科博士課程中退,東京大学理学博士
 浜松市入野町在住

- ・ 社会活動等
- (学) 常葉学園理事, (学) 浜松常葉学園 副理事長, 浜松商工会議所 顧問,
- (財) 静岡総合研究機構理事, (財) しずおか産業創造機構 評議員, (宗) 龍雲寺住職
- ・ 所属学会

日本地質学会, 日本応用地質学会, 自然災害科学会, 静岡県地学会会員, 日本応用地質学会元理事・評議員
 J S 日本の学校HPより

